



大阪府公文書館問題検討 小委員会の設置

大阪府公文書館は1985年に、旧大阪府立女子大学図書館の施設を利用して設置された暫定的なものであり、6年経過した現在収容能力も限界に来つつあるため、将来の本格館を設立する検討を開始した。

1986年8月より、専門家からなる公文書館運営懇談会が設置されており、今回はこの中に位置づける形で小委員会を設置し、1992年3月23日第1回の会議がひらかれた。委員は下記の通りである。

委員長 山中永之佑（追手門学院大学教授）
委員 広川禎秀（大阪市立大学教授）
芝村篤樹（桃山学院大学助教授）
中尾敏充（大阪大学助教授）
白石玲子（関西大学講師）
高松敏夫（府立中之島図書館郷土資料課長）
本田稔彦（総務部法制文書課長）

検討項目は、公文書館のありかた／公文書館の業務／施設の位置付けと組織の整備／機能に応じた施設内容、規模／施設の地理的条件である。

期間は1992年度から1993年度にかけて10回の会議と調査をおこない、1994年3月に上記の公文書館運営懇談会に答申する予定である。

大西 愛・大阪府公文書館